

平成27年度の学校評価

本年度の 重点目標	さまざまな場面を通じて、生徒に、自ら判断し、それを表現するなどの実力等を身に付けさせる活動ができるように、教科及び分掌で創意工夫する。		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保護者・同窓会 との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、本校教育活動への更なる理解・協力を得るため、PTA 活動への積極的参加を呼びかけ、連携の強化を図る。 ・保護者懇談会の更なる改善を図る。 ・ホームページの充実を図る。 ・同窓会の充実・発展への支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 委員会で各活動への積極的参加を依頼するとともに、ホームページなどを通してPTA 活動の積極的発信をする。 ・PTA 委員による評価を行い、結果をできるだけ反映させるようにする。 ・同窓会の役員中心の活動を、積極的に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動へのより積極的な参加を呼びかける。 ・HP、広報誌「みな美」等を通してPTA 活動の広報、発信についてのさらなる理解・協力を得、連携の強化を図る。 ・PTA や同窓会との連携・協力体制を深める。 ・同窓会総会を役員中心に行ない、本年度以降の積極的な開催を促す。
学習指導 (教務部)	授業を基本とし、家庭学習の定着を図り、基礎学力の充実及び向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の質的向上を図るとともに、生徒が予習・授業・復習のサイクルを確立できるよう指導内容・指導方法について工夫をする。 ・授業と家庭学習（休日・長期休業中を含む）が効果的に結びつくよう適切な学習課題と学習方法を示し、家庭学習の習慣化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科主任会、教科会、学年会との連携を密にし、成績不振の生徒・欠課の多い生徒の状況把握と早期の対処に努める。 ・家庭学習時間調査の結果を生徒にフィードバックする。 ・長期休業中の学習計画を具体的に立てさせ、学習についての指導・助言を充実させる。
進路指導 (進路指導部)	・生徒の進路意識を喚起し、進路目標の達成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に適した進路ガイダンス等を実施し、生徒が各自の将来の目標に向けた進路実現を達成できるよう指導する。 ・キャリア教育の一環とし、1年の探究の授業を計画する。 ・全学年共通で、長期休暇で実施される職場インターシップや、大学で開催される高校生向けの学習講座などを積極的に紹介し、知的好奇心を高めるとともに、職業を見据えた大学進学等の意義を考えさせる。 ・1年生で実施する大学の模擬授業体験を、高大接続の一環と位置づけ、本校生徒が目標とする大学に依頼し、生徒の今後の進路選択の一助になるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年と連携をとり、適切な資料を提示し、生徒の進路意識を喚起する。 ・職場インターシップや、大学の研究講座などを、学年進路掲示板に随時提示し、全生徒の意識を高めるよう努める。

<p>生徒指導 (生徒指導部)</p>	<p>規律ある生活習慣の確立と定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の「身だしなみ指導」を実施 ・遅刻防止のための「校門立ち番指導」を実施 ・スクールカウンセラー (SC) の設置と連携 ・生徒指導部による、企画運営の講話や全体集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会と協力し、段階をおった指導を日常的に粘り強く行う。 ・制服を自ら端正に着用するよう指導の工夫を図り、自己指導力を定着させる。 ・校門遅刻3回で3日間の早朝登校を課し、生活のリズムを整えさせる。 ・SCと連携し、教育相談の充実を図る。 ・生徒に対し、毅然と受容のバランスを念頭にいた指導の実施
<p>図書館活動 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館の利用促進と生徒の読書意欲の向上 ②情報・学習センターとしての図書館の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出者数、貸出冊数の目標を設定する。(年間500人、6000冊) ・図書委員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の新規利用者が増えるような行事・掲示・宣伝の工夫に努める。 ・調べ学習や、発展学習に役立つような選書をし、スムーズに処理ができるよう館内整備に努める。 ・図書委員の各係活動を細分化し、主体的に活動できるように指導する。
<p>職員研修 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①職員研修会、授業研究の機会の確保 ②初任研・教職経験者研修などの校内体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状にあった授業方法や生徒指導の在り方を研究できる研修を実施する。 ・あらかじめ年間の研修計画を作成し、各種研修が偏りなく実施できるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の現状にふさわしいテーマを取り上げた研修を企画していただけるように、各分掌に依頼・調整する。 ・各教科の特殊性を鑑みた上で、現行の学習指導要領(指導上の留意点・配慮等)の意図が、十分に授業に反映されるような研修を実施できるように配慮する。
<p>特別活動 (特別活動部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部会・各種委員会の活性化及び定例日の活用 ・生徒会執行部・各種委員会による行事の企画・運営とそのため組織作り ・生徒会室の整備、資料・記録の整理 ・ボランティア活動(校外清掃・募金運動など)の企画 	<p>生徒会執行部と各種委員会の連携を密にし、各種行事における運営組織を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒議会・各種委員会の運営を生徒自身で行えるようにサポートする。 ・資料・記録を整理できる環境を整え、生徒間で引継ぎをできるように援助する。 ・生徒会行事・ボランティア活動の充実を図るために活動内容・方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部と各種委員会の連携を密にし、各種行事における運営組織を整備する。 ・生徒議会・各種委員会の運営を生徒自身で行えるようにサポートする。 ・資料・記録を整理できるような環境を整え、生徒間で引き継ぎをできるように援助する。 ・生徒会行事・ボランティア活動の充実を図るために活動内容・方法を工夫する。
<p>美化活動(ゴミ分別回収の徹底と清掃の充実) (保健部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外から持ち込んだものは極力持ち帰るように働きかける(ゴミの減量化)。 ・環境に配慮し、ゴミの分別状況の向上を図る。 ・清掃の充実を図る(トイレ清掃の充実、清掃時間【10分】の確保)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別回収の意識を高め、教室での分別回収を徹底する。 ・年間に美化委員会を数回開き、委員の仕事徹底させる。 ・分別回収に対する生徒及び教職員の意識高揚のため、掲示・呼びかけ等工夫する。 ・校門付近で配られるチラシ・パンフレット類の受け取りについての指導を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会を通じて、各クラス、どの程度分別がなされているか実態を把握する。 ・紙類を含めてすべてのゴミの分別に関して、根気よく継続的に啓発する。

